

第64回全日本教職員バドミントン選手権大会 一般女子ダブルス優勝

この度、全日本教職員バドミントン選手権大会・個人戦において、一般女子複の部で優勝することができ、大変嬉しく思っております。

私は昨年度に引き続き、今回が二度目の出場でした。私にとって本大会は、年に一度、自身の力を存分に発揮できる最も大きな舞台です。この大会があるからこそ、現役時代を思い起こすほどの熱量で練習に打ち込むことができます。汗をたくさんかき、筋肉痛で全身が痛む日々も、どこか心地よく感じられます。苦しいプレーの中で放ったショットが決まった瞬間の喜びは格別で、思わず声を上げ、全力で喜ぶことができます。

大人になった今でも、このような経験ができる環境は決して当たり前ではありません。打ち込めるものがあることの幸せを改めて実感し、二度目の出場となった今回も「やはり、バドミントンは楽しい」と心から感じることができました。

教員という仕事と両立しながらの練習は、時間の確保が難しく、苦しさをを感じる場面もありました。しかし、ペアを組む佐藤先生が常にストイックに練習へ取り組まれる姿を目の当たりにし、「恥じないプレーをしたい」という思いが、諦めそうになる自分を支えてくれました。バドミントンを心から愛し、努力を惜しまないペアと共に戦えたことを誇りに思っています。

また、本大会を通して他県の教職員の方々と交流できたことも、大変貴重な経験となりました。同じ教員という立場で、仕事とバドミントンを前向きに両立されている仲間が存在を知り、私自身もさらに頑張ろうという大きな活力を得ることができました。

今後も体育教師として、「スポーツをすることの楽しさ」や「何かに打ち込めることの幸せ」を、今回の経験を通して生徒たちに伝えていきたいと考えています。

最後になりましたが、本大会の運営に携わってくださった皆様、日頃より練習に付き合ってください岐阜県のメンバーの皆様、家族や学校関係者の方々、そしていつも温かい応援で力を与えてくれる生徒たちに、心より感謝申し上げます。これからも、自分にできる形で恩返しをしていきたいと考えております。本当にありがとうございました。

【岐阜県代表・有尾 明香】